

みちしるべ

みずからのために道しるべを置き みずからのために標柱をたてよ (エレミヤ31:21)

人になれ 奉仕せよ

聖句： あなたがたの光を人々のまえに輝かしなさい。(マタイによる福音書5:16)

保育目標：	0歳児	・保育者に見守られ、身体を動かす心地よさを感じる。	・秋の自然を感じる。
	1歳児	・身体をいっぱい動かして、楽しく遊ぶ。	・秋の自然を感じる。
	2歳児	・友達や保育者と一緒に、興味のあることを見つけやってみる。	・秋の自然を楽しむ。
	年少組	・友達と一緒に運動や遊びを楽しむ。	・秋の自然に触れて遊ぶ。
	年中組	・友達と力を合わせてやってみる。	・秋の自然に親しむ。
	年長組	・力を合わせていろいろな活動に意欲的に取り組む。	・秋の自然に親しむ。

今年は、自然災害が多く日本各地で悲しみの中におられる方がいらっしゃいます。私達も先日の台風15号の災害によって、当たり前の中生活の中にたくさんの恵みがあることを知らされました。災害に遭われた方々に神さまの励ましと慰めがありますように祈ります。

先日は、無事に大学のグラウンドで、うんどう会を行うことができました。年長組の子どもたちにとっては、こども園最後のうんどう会となりましたね。前日は、天気予報から一時も目が離せず、横浜地方気象台に電話で相談をするほど心配していましたが、当日は身体を動かして過ごすにはちょうど良い(午後は少し暑くなりましたが…)天候に恵まれました。本当に感謝です。また、保護者の方々のご理解とご協力を心より感謝申し上げます。ありがとうございました。うんどう会では乳児から幼児まで一人ひとりが、その人らしい表現や持てる力を発揮して競い合う事や力を合わせる事の楽しさ、面白さを経験し、お家の方たちと一緒に楽しい時を過ごすことができましたと思います。また、自分たちが作った物を身につけたり使ったりして参加できたことは、子どもたちの自信や喜びにつながったことでしょうか?当日の出来不出来ではなく、子どもたちの内面の育ちや思いを保護者の方々に感じ取っていただけていたら嬉しいです。しばらくの間は子どもたちと一緒にうんどう会の余韻を楽しみたいと思います。

この夏も、私たちは施設環境の優れた園に見学研修に行かせていただきました。そこで出会った子どもたちはどの子も自分のやりたい事を見つけて挑戦や探究をしていました。その姿は、乳児幼児問わず一人ひとりの持つ力によって違いますが、どの子も自信を持ち意欲的に物事に取り組んでいる姿(その姿は本園の子どもたちにも見られます)でした。また、木製の手作り遊具はどれも魅力的で大人の私たちまで思わずやってみたくなる程です。見学研修から戻り早速お父さんの会の活動で木製のたいこ橋を造っていただく…子どもたちがたいこ橋にぞくぞくと集まり挑戦を始めたのです。登っていくには手足の力はもちろん、バランス力や瞬発力も使います。そして、登れるようになると一番てっぺんにそっと立ち上がる姿がありました。慎重にゆっくりと立ち上がり、ふうっと大きく息を吐いて周りの景色を満足気に眺めている姿は、とても誇らしげに見えました。たいこ橋に集まってくるのは幼児だけではなく。乳児も興味津々、自分なりの挑戦を始めています。たいこ橋の下のほうで登りたくて何度も両足をあげている姿は、登れるようになるために必要な大事な時間です。以前から私たちは、子どもたちの姿から子どもたちにとって必要な環境を考えてきました。環境を造り変えていくためには子どもたちの育ちをきちんと見極めて、検討を繰り返していくことが不可欠です。私たちは子どもたちが今の園庭の環境に物足りなさや不自由さを感じているように思います。砂場や山での遊び、自然体験や仲間との遊びなど…そこで、子どもたちの『やってみたい』や『これがいい!』をより実現できるように、本園の園庭(施設見学研修で出会った園庭を参考にして)を進化させていこうと考えています。まずは、段々砂場の引越しから始めます。子どもたちが、安心してゆっくりと試行しながら遊びに取り組めるような場所に移動させようと思います。その後、段々砂場の跡地に山の増設やメンテナンスなども考えています。もちろん、これはお父さんの会の方たち中心に保護者の方々の協力なしにはできません。どうぞよろしく願いいたします。

秋も深まり心も身体ものびやかに動かすことで、またひと回り大きくなっていく子どもたちを神さまは喜んで祝福してくださることでしょ。

副園長 鈴木 直江

